# 第4回 関東地区・東京都トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議議事次第

1. 日 時

平成22年3月29日(月)14時00分~16時00分

2. 場 所

東京都新宿区四谷3-1-8 東京都トラック協会 7階大会議室

- 3. 議事
- (1)開 会
- (2) 神谷関東運輸局長挨拶
- (3)議題
- 1 適正取引に向けた取組等について

(関東運輸局)

2 手待ち時間縮減に向けた取組について

(キリン物流)

3 下請取引の適正化について

(関東経済産業局)

4 その他

(4)閉 会

## 関東地区・東京都トラック輸送適正取引推進

## パートナーシップ会議委員名簿

(順不同・敬称略)

荒木時雄 東京商工会議所 地域振興部長 (関東商工会議所連合会、東京都商工会議所連合会)

和 栗 安 広 東京経営者協会 事務局長

竹 口 誠 三 関東倉庫協会連合会 専務理事 (東京倉庫協会 専務理事)

奥 山 素 行 キリン物流株式会社 関東支社副支社長

木 曽 一 夫 全農物流株式会社 専務取締役

黒 須 元 信 AGCロジスティクス株式会社 執行役員 物流改善推進室長

鈴 木 昌 和 関東地方通運協会 専務理事 (東京地方通運連盟 専務理事)

松 永 正 大 東京路線トラック協会 常務理事

綿 引 正 明 関東トラック協会 専務理事 (東京都トラック協会 専務理事)

竹 内 政 司 竹内運輸工業株式会社 代表取締役

三村 偉一郎 株式会社三村運送 代表取締役

矢 崎 敏 央 弘済運輸株式会社 代表取締役

米 田 易 憲 関東地方交通運輸産業労働組合協議会 副議長

櫻 井 成 好 関東経済産業局 産業部次長

山 手 斉 東京都産業労働局 商工部長

小 林 豊 関東運輸局 自動車交通部長

矢 田 淑 雄 関東運輸局 東京運輸支局長

## 第4回関東地区・東京都トラック輸送適正取引推進 パートナーシップ会議委員出席者名簿(22.3.29)

(順不同・敬称略)

# 委 員

		女 只
荒 木 時	雄	東京商工会議所 地域振興部長 (関東商工会議所連合会、東京都商工会議所連合会) (代理出席 朝香 博 地域振興部副部長)
和 栗 安	広	東京経営者協会 事務局長 (代理出席 大 矢 衞 史 総務部部長代理)
竹口誠	Ξ	関東倉庫協会連合会 専務理事 (東京倉庫協会 専務理事) (代理出席 清 原 満 春 常務理事)
奥 山 素	行	キリン物流株式会社 関東支社副支社長
木曽一	夫	全農物流株式会社 専務取締役
黒 須 元	信	AGCロジスティクス株式会社 執行役員 物流改善推進室長
鈴 木 昌	和	関東地方通運協会 専務理事 (東京地方通運連盟 専務理事)
松永正	大	東京路線トラック協会 常務理事
綿引正	明	関東トラック協会 専務理事 (東京都トラック協会 専務理事)
竹 内 政	司	竹内運輸工業株式会社 代表取締役
三村 偉一	·郎	株式会社三村運送 代表取締役
矢 崎 敏	央	弘済運輸株式会社 代表取締役
米 田 易	憲	関東地方交通運輸産業労働組合協議会 副議長 (運輸労連関東ブロック代表委員)
櫻 井 成	好	関東経済産業局 産業部次長 (代理出席 難 波 信 之 中小企業課下請代金検査係長)
山手	斉	東京都産業労働局 商工部長 (代理出席 片 山 泉 商工部経営支援課経営安定係長)
小 林	豊	関東運輸局 自動車交通部長

矢 田 淑 雄 関東運輸局 東京運輸支局長

## 【議事概要】

## 第4回 関東地区・東京都トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議

開催日時:平成22年3月29日(月)14:00~16:30

開催場所:(社)東京都トラック協会 7階大会議室

議事概要

#### 1. 局長挨拶

#### 2. 議題

## ① 適正取引に向けた取組等について

議長からトラック産業の将来ビジョンに関する検討会について目的、検討課題、今 後関東運輸局としての動き等を説明。(資料1-3)

事務局から適正取引推進に向けた取組取組として、全国のパートナーシップ会議の開催状況、関東運輸局の行ったパートナーシップ構造改善実証実験調査の概要、パートナーシップ構造改善実証実験補助事業、パートナーシップによる貨物自動車の安全対策普及事業(補助事業)について報告、またトラック運送事業関係の平成22年度税制改正及び予算について説明。(資料1)

## ② 手待ち時間縮減に向けた取組について

奥山委員(キリン物流株式会社関東支社長)から、手待ち時間縮減に向けた自社の 取組について説明(資料2)

※ キリン物流はキリンビール株式会社出資物流子会社であり子会社の実運送事業者(ケービー物流)及び協力運送会社(約6000両)を利用してキリンビール、キリンビバレッジ等グループ会社の物流業務運営を行っている。問屋及び物流センターへ製品の納入(約3000両)にあたり納品先の指定する時間に到着しても荷卸しを行うまでの間長時間の待機が発生している状況がある。そこで2007年よりこの運送を行っている車両すべて(子会社、協力会社全て)について手待ち時間を記入するシートを用い、待機時間の把握を行い、分析し、データをキリンビール、キリンビバレッジの営業部門と共有し協同して問屋及び物流センター等納品先に対し改善の働きかけを行っている。

#### ③ 下請け取引の適正化について

関東経済産業局産業部中小企業課 難波係長から、下請代金支払遅延防止法、下請中小企業振興法について法律の概要、立入検査、違反類型、をトラック運送事業者を中心にして説明。

また、下請取引適正化のための経済産業局としての取組について説明。(資料3)

#### 4その他

#### 1. 首都高速道路における交通事故防止方策について

関東トラック協会 綿引委員より、協会の行った首都高速道路における交通事故防 止方策検討調査について報告。(資料4)

#### 2. 過労防止に関する荷主団体への要請ついて

東京運輸支局 矢田支局長より、東京支局管内の荷主団体427者に対し行った過労運転、過重労働防止等労働条件の改善のための協力要請について報告を行った。 (資料5)

## ☆ 今回出された主な意見

## 議題1,2についての意見

- ・安全対策普及事業の中に携帯電話にメールで安全情報を送るものがあったが、当社でも行っているが、個人情報の関係で出来ない場合もある。
- ・1 便あたりいくらで契約している場合が多く午前午後2回運行しているものが1回しか運行できないと減収になってしまう。そのため物流の効率化を行うと車両数減らすことになるがその場合今度は繁忙期の需要に対応できない、ある程度の遊休車両を確保しなければならない。これを維持するためにある程度の車両を保有する事業者には税制面で優遇するなど何らかの措置を要望したい。
- ・この4月から週60時間を超える部分の賃金の割増が始まるが、ワークシェアリング等何らかの対応が必要になってくるかもしれない。
- ・運転者の教育について運送事業者が積極的に取り組んでも運転者に伝わらない場合 もある。営業用トラックのドライバーズライセンスのような資格制度が必要ではない か。
- ・朝、夕の通勤時間帯にバスレーンのようなトラックレーンを設ければ、運転者の労働時間の短縮及び事故防止につながるのではないか。
- ・納品形態として午前納品や朝イチの指定が多いが実際には待たされることが多く労働時間の増加につながっているのが実態である。
- ・今後の会議においても色々な取組についての紹介を行ってほしい。自社の改善等の 参考になる。
- ・トラック産業の将来ビジョンに関する資料がほしい。

#### 議題3についての意見

- ・物流特殊指定の厳格な運用をお願いしたい。
- ・最近契約において入札制度の導入が増えているが、安ければよい、審査項目に安全 の確保などコンプライアンスの遵守がない等公平な競争が行われていない状況があ る、コンプライアンスの遵守を審査項目に入れ、公正な入札が行われるように指導を お願いしたい。
- ・関東運輸局としても下請け取引の適正化に向け今後よりいっそう関東経済産業局との連携を図って行きたい。

#### ☆ 今後の会議の進め方について

引き続き適正取引の推進を図ると共に、トラック業界における諸問題について広く 取り組んでいくものとする。特にトラック産業ビジョン検討会の検討内容等について も委員に対し情報提供を行い、現場の声を発信していくものとする。